

資料6 ワークショップ用資料

1. プログラム（14：20～15：05）

配分	プログラム
14：20～14：25（5分）	概要の説明 ①話し合うことについて ②ワークショップの進め方について
14：25～14：55（30分）	ワークショップの実施 ・意見カードを作成する ・意見を紹介しながら模造紙にふせんを貼る
14：55～15：05（10分）	ギャラリーウォーク ・他グループの模造紙を見て回る ・よい提案だと思った意見のふせんにシールを貼る

2. ワークショップで話し合うこと

「包括的な支援体制」と令和7年度新規事業「地域づくり事業」に関して、地域や団体の強み・協力のアイデアを話し合います。

3. 模造紙イメージ

包括的な支援体制	フォーマ（市） R7年度新規事業	インフォーマル（地域）	強み・協力のアイデア
①相談支援	なんでもかんでも 相談会	【早期の発見・支援】 課題を抱えている人に気付く 住民相互で支え合う 相談窓口の情報を伝える 把握した情報を適切な 支援機関につなぐ	
②参加支援	コミュニティカフェ	【地域とのつながりづくり】 交流の場の提供 就労体験の場の提供 緩やかな見守り	
③地域づくりに 向けた支援	地域づくり （就労体験・交流体験）		

4. 具体的な進め方

1. 1人ひとり、意見カードを作成する。

- ① 1つのふせんに、意見を1つ記入します。
- ② ふせんには、【ア】【イ】を記入します。
【ア】どのような団体・活動に 【イ】どのような強み・協力のアイデアがあるか
- ③ 自分が所属していない団体に関する意見も記入します。

2. 自分の意見カードを読み上げながら紹介する。

- ④ ふせんに意見を書き終えたら、書いた意見を紹介しながら、模造紙にふせんを貼ります。
- ⑤ 他の委員の意見を聞いて、ひらめいたことがあれば、ふせんに意見を書いて追加します。
- ⑥ 補足や追加アイデアを出し合い、具体的な協力方法を検討します。

3. テーブルで出た意見を各自で見回す。

- ⑦ 模造紙をテーブルに置き、他のグループで出た意見を見て回ります。
- ⑧ よい提案だと思った意見のふせんにシール（赤丸）を貼ってください。
- ⑨ 他グループの意見を見て、ひらめいたことがあれば、ふせんに意見を書いて自グループの模造紙に追加します。

5. ワークショップのルール

- ① 全員が発言できるようにします。発言が長時間にならないよう、話は簡潔にまとめ、他の人の意見も十分に聞けるようにしてください。
- ② 異なった意見は特に重要ですので、いろいろな視点や立場から討議を深めるようにしてください。

〈参考〉ワークショップ5カ条

- (1) ワークショップでの検討の目的（趣旨）について意見を交換する。
- (2) 人の話をよく聞き、楽しく議論する。
- (3) 縄張り意識や肩書、立場からではなく、自分の考えを話す。
- (4) 非難や愚痴、文句でなく、建設的な意見を交換する。
- (5) 思い込みや強がりではなく、最後まであきらめず自分の考えを理解してもらう。